

当社取締役会の実効性に関する評価の結果について

株式会社 SCREEN ホールディングス

当社では、コーポレート・ガバナンスを有効に機能させるために取締役会がどのように貢献しているかを検証し、課題を抽出し改善を図る目的で、取締役会自身が取締役会の実効性の分析・評価を実施、その結果の概要を開示しております。2023年3月期における当社取締役会の実効性について、分析・評価を行いましたので、その結果の概要を下記のとおり公表いたします。なお、分析・評価については、第三者機関の助言を得て実施し、当社外の評価結果との比較も行っております。

当社取締役会では、下記の分析・評価を踏まえ、対応策の策定とその実行を進め、取締役会の機能を向上させ、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を進めてまいります。

記

1. 評価および分析の方法

- (1) 実施時期 2023年2月24日～3月10日
- (2) 回答者 全取締役および全監査役（社外役員含む計12名）
- (3) 実施要領 第三者機関作成のアンケートによる自己評価方式
 - ① 第三者機関が無記名式による自己評価アンケートを実施
 - ② 第三者機関がアンケートを集計、結果を分析
 - ③ 第三者機関より受領した報告書を取締役会で検証・議論
- (4) 質問事項（計40問）
 - ① 取締役会の構成
 - ② 取締役会の運営
 - ③ 取締役会の議論
 - ④ 取締役会のモニタリング機能
 - ⑤ 社内取締役のパフォーマンス
 - ⑥ 社外取締役のパフォーマンス
 - ⑦ 取締役・監査役に対する支援体制
 - ⑧ トレーニング
 - ⑨ 指名・報酬諮問委員会
 - ⑩ 株主（投資家）との対話
 - ⑪ ご自身の取り組み
 - ⑫ 総括

各質問に対する自己評価は5段階で行うとともに、当社取締役会の実効性をさらに高めるために必要な点などについて自身の考えを自由に記入し、回答者は直接第三者機関に報告しました。

2. 評価結果

当社取締役会はその役割・機能を概ね適切に果たしていると評価いたしました。2022年3月期に比べて、全体的に評価が向上しました。中でも特に向上した面は、「経営戦略や経営計画におけるグループ全体の潜在的なリスクとその対処方法についての議論の実施」、「社内取締役による、取締役全員への関連情報や議論の対立軸の事前共有」でした。

一方で、取締役・監査役と内部監査部門等との連携体制の面では改善の余地が示されておりました。

【2022年3月期評価において認識した課題とその取り組みについて】

① 取締役会における経営戦略やポートフォリオ戦略等に関する議論

社外取締役・社外監査役への取締役会付議事項の事前説明の充実や、取締役会決議に至るまでの社内会議ならびに事前説明での質疑応答を取締役に共有する体制づくりとその継続的な実施により、取締役会での十分な審議時間の確保やより深く活発的な議論の場とすることに改善が見られました。

② 取締役・監査役と内部監査部門を含む関連部門との連携

取締役会での定期的な内部監査結果の報告を継続して行っていました。また、2023年3月期ではコロナ禍で時間・回数が減少していた取締役・監査役の意見交換会や社外取締役・社外監査役による意見交換会が開催でき、情報共有の場を増やす取り組みに努めてまいりました。

3. 今後の取り組み

今回の取締役会実効性評価において、2022年3月期で課題となった取締役・監査役と内部監査部門等との連携体制といった面では、評価結果の向上は見られましたが、社外取締役との連携体制において、引き続き改善の余地が示されております。当社取締役会ならびに社内関係部署においては、今回の評価と原因分析を踏まえ、課題に対する具体的な対応方法について十分な検討を行った上で、さらなる現在の取り組みの維持向上や関連部門との連携の強化等により、取締役会の実効性向上に努めてまいります。